

# 地方大学・地域産業創生交付金（石川県）〈計画期間：R5年度～R14年度（R9まで国費支援）〉 地域に培われてきた高度な繊維・機械加工技術を活かした環境適合型複合材料川中産業創出プロジェクト

## 概要

- 石川県では、地域で培われてきた高度な繊維・機械加工技術を活かした複合材料の川中産業を核とし、カーボンニュートラル実現に向け、植物由来素材を活用した**環境適合型複合材料**の研究開発と強靱なサプライチェーンを構築を目指す。
- 金沢工業大学において、**必要な専門人材を育成**するための大学改革を行うことにより、本地域を日本における複合材料にかかる研究開発・人材育成の中心とし、石川県産業の振興と雇用創出を図る。
- **金沢工業大学ICC（革新複合材料研究開発センター）**をハブとして、**地元中小企業群が連携**し環境適合型複合材料サプライチェーンを構築することにより**産業創出**を図る。

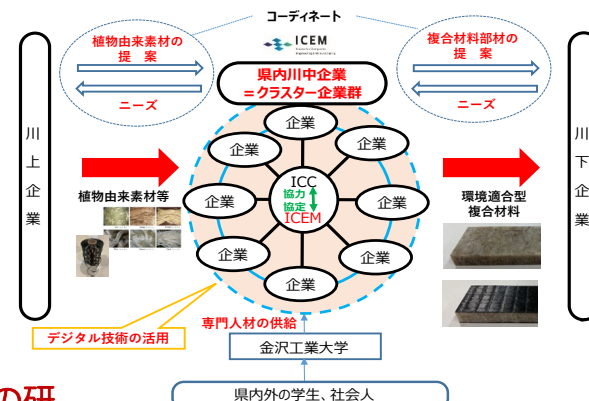
## 活動内容

### （プロジェクトの狙い）

- 県内川中企業単独での技術や工程の提案では、提案の幅が限られるため、川下企業の採用には至らないことが課題。
- そこで、複合材料分野での川中企業間の連携によるクラスター化を促進し、**川下企業のニーズを踏まえた提案力、研究開発を担う専門人材の育成が急務**。
- 川上から川下企業までの連携を強化し、環境適合型複合材料に係る強靱なサプライチェーンを築くとともに、複合材料分野とデジタル技術に精通した**専門人材の供給体制の整備**を目指す。

### （具体的取組）

- 欧州との産学連携、出口開拓、共同研究開発のため、**フラウンホーファー研究機構との研究ユニット**をICC内に設置（FIP-MIRAI@ICC）。
- 複合材料のコーディネートを強みを持つ(株)ICEMが企業間のマッチングを行い、**適用製品の拡大により県内複合材料産業の生産額増加及び雇用創出**を目指す。県内企業と連携した具体的な研究開発を**4件**実施中。加えて、産総研BILとの連携により新たに**2件**の研究開発を開始。
- 研究開発、産学連携等の機能と知見を集約した「複合複材料産学連携機構」の下、大学と社会が有機的に繋がる社会実装教育を推進。**トップレベル人材のリードによる先導的な活動、次世代人材の地域定着、企業人の専門知識習得**に資する教育プログラムを運用。



ICC（革新複合材料研究開発センター）

事業責任者：宮里 心一（金沢工業大学 学長補佐 教授）

主な参画機関：（官）石川県、（学）金沢工業大学、石川県立大学、（産）(株)津田駒工業等の地元中小企業 12 社

<令和7年9月時点>